



上海交易所條例

2866



114
A 3421



上海交換所條例

新貨幣及圓銀ヲシテ廣ク支那地方ニ流通スルニ彼我ノ通商ヲ昌盛ナラシムル為メ上海ニ於テ交換所設置ノ事ヲ決定シタルニ付大日本大藏省ニ於テ右交換所處務ノ順序ヲ制定シタル條々如左

第一條 交換所設置ノ手續ヲ明ニス

大正十一年四月

東京

第一國銀行

第一節此交換所之藏省紙幣寮命ヲ奉シ第一國立銀行ニ於テ其事務ヲ擔當ス可シ

第二節交換所設置地ハ支那上海ニ於テ適宜ノ場所ヲトシ銀行出店ノ以テ之ヲ開業ス可シ

第三節交換所ノ主務ハ我新債圓銀ヲ普ク支那北方ニ流通セシメ以テ

彼我通商便益ヲ増シ且常ニ

交換價格ノ景況ヲ考察シテ

我カ新債圓銀ト支那地金銀

及洋銀等ノ交換ヲ為シ漸ク

其流通ヲ擴伸スル事ニ盡カ

ス可シ

第四節交換ノ景況ニヨリテハ此交換所

ニ於テ廣東香港其他ノ地方

都合ヲ謀リ時々出張シテ交換ヲ取扱フコトアルヘシ

第二條 交換所設置年限ノ明ニシテ

第一節此交換所ノ創立ヨリ五年ヲ以テ

試驗ノ年限トシ其中永續ハ

目的ニ合テレバ銀行本店ノ營

業中ハ之ヲ取續ケテ得ヘシ

第二節若右年限中又ハ滿期ノ際ニ於

テ永續ノ目途ヲケレハ次條ノ手續ヲ

以テ此交換所ヲ鎖店スヘシ

第三條 交換所資本金定度及其擔保手續ヲ明ニス

第一節此交換所ノ資本金ニ金貳拾萬圓

ト定メ大藏省ヨリ之ヲ第一國立銀

行本店ニ交付シ銀行本店ヨリ

交換所ニ送致シテ其資本ニ充

ツヘシ但右貳拾萬圓ノ外銀行

本店ヨリモ之ヲ送致スルハ隨意
タルヘシ

第貳節 金額ハ交換所設置ノ為
銀行ヨリ流出ノ際圓銀ト銀
貨トニテ之ヲ交付スヘシ

第參節 銀行本店ヨリハ此資本金ノ抵
當トシテ其半額拾萬圓丈
金札引換公債證書ヲ以テ試

驗年限中ニテ大藏省ニ納メ
置ク可シ尤モ此抵當ヨリ生スル
利足レバ論銀行本店所有
タル可シ

第肆節 此資本金額ハ交換所事務試
驗ノ年限中ニテ大藏省ヨリ無利
息ヲ以テ銀行本店ニ其運用
ヲ專任スヘシ尤モ右年限中ニ

テモ此交換所設置ニ付キタル
 諸經費ヲ其利益金ニテ充分
 交消セシ上尚將來利益ノ目
 的アルニ於テハ大藏省ノ期ヲ定
 テ其資本金ヲ返納セシムルコト又
 相當ノ抵當ヲ出シ且利息上納
 ノコトヲ銀行本店ニ命スヘシ
 第五節 銀行本店ニ此交換所ノ事務

取扱ヲ擔保スルニ付若右試験
 中不時ノ災厄ニ罹^中リテ資本金
 ヲ損失スルカ又ハ派出ノ者之ヲ
 引負フカ又ハ其運用ノ方法便
 宜ヲ得スシテ交換所ノ諸經費
 交消ニ不足スルモ都テ銀行
 責任トシ試験年限ノ満期ニ
 至レハ必ス此資本金額ヲ大藏

省ニ返納シテ抵當品ヲ受取ルハ
 若又其期ニ届リ此返納ノ
 怠レハ先ツ此交換所ヲ鎖店
 セシメ抵當ノ金札引換公債
 證書ヲ没入シ尚不足アレハ交
 換所ノ所有物又ハ銀行本店
 ノ所有物ヲ取上ケテ此返納ヲ
 遂ケシムベシ但此損失モシテ亂

又ハ航海中防禦スヘカラナル賊
 難ノ類ニ生スル時ハ此限ニテラス
 第六節故ニ銀行ノ右ノ資本金ヨリ生スル
 利益ヲ以テ當初交換所設置
 一切ノ諸経費ノ償辦
 且年々交換所ノ費用ヲ支
 消シテ尚贏餘アルハ其分ヲ
 試験年報中タリ氏之ヲ大藏

省ニ當初交付セラレタル資本
金額ヨリ減スハシ

第七節 銀行ハ前條ノ方法ヲ以テ試
驗年限中又ハ満期至リ大
藏省ヨリ交付セラレタル資本
金額ハ皆納スレハ此交換所ハ
全ク銀行ノ所有ニ收シ其意
ニ任セテ之ヲ營業スルヲ得可シ

第四條

交換所資本金運用ノ手續ハ明ニ

第八節 交換所ニ於テ資本金運用ノ方
法ハ大藏省ヨリ交付セラレタル
圓銀銀債ヲ以テ時價ノ景況
ヲ見計ヒ之ヲ上海通用ノ規
銀ニ交換シテ確實ナル物品抵
當ヲ以テ貸附金ヲ為スルノ常
務トシ且為替ノ模様ニヨリテ

其規銀ヲ以テ橫濱神戶等
江洋銀為替ヲ為シテ漸次
我國銀銀債ヲ彼地方に送
致スルヲ心掛ク

第二章交換所ニ於テ貸附金ヲ為シ高
級令何様抵當品正確
氏一人又一口ノ高資本金額十
分一ヲ限ルハトスヘシ

第三章交換所ニ於テ抵當貸金ヲ為
ス物品ニ高業上必要ナル水綿
砂糖等類ニテ常ニ賣買速
ナルモノニ限ル可シ且其貸附ノ
期限及ヒ利息ノ約束等ハ土
地ノ慣法ニ從フヘシト云ル可成丈
其期ヲ短縮シ其利息
低下ニス可シ

第貳節上海為替之景況ニヨリテ橫濱
 又ニ神戶其他ノ地方ニ為替
 取組ムニハ交換所ヨリテ之ヲ銀行
 本店ハ通達ニ其為替金ハ本
 店ニ受取リ其中申請ニ後テ代
 リ圓銀銀貸ヲ交換所ニ送
 致スヘシ

第參節右為替取組方ノ洋銀價

格ノ計算ニヨリテ圓銀銀貸
 ヲ支那地方ニ送致流通スル
 ヲ要務ト為ストモ其時ノ都
 合ニヨリテ彼我高估ノ送致
 スヘキ金額ニ依リテ此為替
 取組ムニハ勉ム可シ

第肆節大藏省ノ都合ニヨリテ歐米
 諸國ニ送致スル官金アル代橫

濱洋銀相場ト歐米貨幣
 下相場ヲ見計セ之ヲ銀行
 本店ニ命シ上海交換所ニ
 於テ規銀ヲ以テ其為替ヲ取
 組ミ其金額圓銀銀貸ニ
 テ銀行ニ受取セ之ヲ交換所
 ニ送致シテ振替為替ヲ為シ
 歐米諸國ノ貨幣換テ其

地ニ於テ渡シ方ヲ為ス
 可シ

第五條 交換所ニ預メ券發行
 明ニス

第節 交換所ノ營業ノ模様ニヨリテハ
 最初大藏省ヨリ交付セラレタ
 ル圓銀銀貸ヲ以テ洋銀又ハ
 規銀ニ交換シ之ヲ準備トシ
 テ上海ニアル歐米各國銀行

リ發行スル例ニ倣ヒ其地限
 ア預リ券ヲ發行スルヲアル可シ
 第二節此發行スル規銀洋銀ノ預リ
 券ハ試驗年限中ハ拾五萬圓
 迄ノ實額ヲ限リ其準備正金
 發行額ノ券高十分ノ七ハ必
 ス交換所ニ格護シテ常ニ其
 交換ニ差支ヘサル様ニスヘシ

第三節此預リ券ノ種類ハ規銀壹千圓
 貳千圓五圓拾圓ノ四種洋
 銀壹圓五圓拾圓貳圓ノ
 四種トシ其製造ノ格好等紙
 幣索ノ指揮ニ後ニ極ニ精緻
 ラ旨トシ銀行ニ於ラ之ヲ取扱
 ハシ

第四節追テ新貨圓銀ノ流通支那

地方ニ擴伸スレハ交換所ニ於
 テハ圓銀銀貨ノ預リ券モ發
 行スルヲアルヘシ但之ヲ發行スル
 ニ其時ノ景況下其發行ノ
 都合トシテ銀行ヨリ紙幣索
 具陳シ其許可ヲ得テ後
 之ヲ取扱フ可シ

第六條

交換所於定期當座預金ヲ為手續ヲ明ニ

第六節 交換所ニ於テハ内外人民ノ望
 ミヨリ定期當座ノ預リ金ヲ為
 スヲ得可シ尤モ其利息ト期
 限ト土地ノ模様ニ從ヒ便宜
 之ヲ取究メ預リ證書面ニ明
 亮ニ其約束ヲ掲ケ置ク可シ
 第六節 右預リ金ノ高ハ試驗年限中
 資本金額ノ高近ラ限リトシ縱

令何様ノ信用ヲ得テ預ケ方
 ヲ望ム者アリトモ此額ヲ起^超ス
 交換所ニ之ヲ預ル可ラス但シ
 送為替ヲ以テ一時其金額ヲ
 受取リ之ヲ他方ニ渡カノ類
 此預ル金額内ニ算ス可ラス
 第七條 交換所於官署出納向取扱手續明ス
 第一節 上海領事館出納御用其他

臨時駐劄スル官署ノ出納向
 ハ勿論都テ大蔵省ヨリ技
 那地方ニ於テ仕拂フヘキ金
 銀又ハ受取ルヘキ金銀ハ之ヲ
 銀行本店ニ達シ此交換所ニ
 於テ其取扱ヲ為リシムヘシ
 第二節 右ノ取扱ヲ為スニ付銀行本店
 又ハ交換所ニハ為替打掛外

別ニ其手數料ヲ渡サハルヘシ
 尤モ領事館又ハ臨時駐劄
 官負ノ出納取扱ハ當初相
 當ノ約束ヲ設ケテ瑣少ノ手
 數料ヲ交付ス可シ

第三節 總テ交換所ノ申請ニヨリテ支
 那地方ニ輸出スル圓銀銀貨
 ハ銀行本店ヨリ之ヲ大藏省

ニ申立テ新紙幣ト交換シテ
最初交換セラルル者
 本金ハ此例ニテラス
 銀行本店ヨリ
 之ヲ送致スヘシ

第四節 右ノ交換價格ハ圓銀百圓ニ
 紙幣百零壹圓銀貨百圓ニ
 紙幣百圓ノ割ヲ以テシ支那
 地方流通ノ模様ニ從ヒ交換
 所ヨリ申請ニ任セラレ之ヲ交

付スヘシ

第八條

交換所事務計算書検査手續

第一節 交換所事務取扱方及諸
計算向、實地検査、上海
駐劄領事官之專任シテ
毎月一度又、兩度就實際ノ
模様簿記順序現有金
多寡等詳細ヲ點檢調

查スヘシ

第二節 右検査シケル次第及諸勘定
向、其時々計表又ハ調書ヲ
以テ交換所主任調印ノ上
之ヲ領事官ニ出シ領事官
其相違ナキコトヲ認ムレ、尚之ニ加
印シ検査シテ正シキモノ
速ニ其書類
ヲ紙幣寮ニ遍送スヘシ

第三節 交換所ノ主任ニ其検査ヲ受
 ケタル手續及テ領事官ニ差
 出シタル書類ノ寫ヲ以テ速ニ之
 ヲ銀行本店ニ通達スヘシ
 第四節 大藏省又ハ紙幣寮ノ考案
 ニヨリテ更ニ詳密ナル取調ヲ
 為サントセハ之ヲ領事官ニ達
 シテ臨時ノ検査ヲ為サシム可

シ但此臨時検査ヲ為セシ時
 ニ其計表其外ノ差出方
 都ニ第一節第二節ノ手續
 ニ依テ可シ
 第五節 若此検査ニ於テ交換所ノ事
 務取扱向此條例ニ抵触ス
 事アリテ領事官ハ速ニ其責
 務取扱方ニ差留メ之ヲ紙

幣寮ニ通達ニ銀行本
 店ヨリ相當ノ人莫ク派出
 セシム其者ト立會ノ上ニ交
 換所ニ鎖店ニ諸勘定向
 調査シテ其決算ヲ逐
 シム可シ
 然レト云々領事官ニ此檢査
 ヲ為スル若ク抵解ハ第一項

券發行高ニ對スル準備
 金貯有高制限ニ相當
 スル及ク備附金抵當品
 正確ニシテ其制限ノ定度ヲ
 失ハカレヤラ要旨ニ此兩件
 甘テ不都合ヲ只尋常簿
 記計算ノ差違等ノ小過失
 ナレ之ヲ改正シテ條例ニ照

準てシタル迄ニテ紙幣寮カ
 通達ニ及ハサルハシ
 第七節交換所ノ主任ハ其接觸シ
 タル條款ニ於テ尚辯解スル
 キトアルハ詳明ニ其手續ヲ
 銀行本店ニ通達シ銀行
 本店ヨリ之ヲ紙幣寮ニ申
 申シ其都合ニヨリテハ紙幣

寮ヨリ相當ノ官員ヲ派出
 シテ更ニ精細ニ検査ヲ為
 シ之ヲ紙幣寮ニ通達シテ
 再應審議ラセヨトアルハシ
 第八節右派出調査ニヨリテ交換所
 所為此條例ニ抵触セザル
 辯解ヲ得ル別ニ其業ヲ鎖
 スニ及ハサルニ付銀行本店ヨ

派出者、紙幣寮派
出官負又、領事官、惠
議、相當、處置、為シテ
其業、ヲ、永續、ス、ハシ

第九條

交換所、預券、引換、預金、事務、所、集

第一節 交換所ニ於テ若シ預金券引
換方又、預金返却、為替
金、渡シ方、意、内外人、限

其次、第九條、領事官ニ上

訴、ス、ル、ト、シ、テ、領事官、ニ、速ニ

交換所、事務、ヲ、差止、ス、事

實、交換所、不都合、ト、シ、テ

紙幣寮、及、銀行、本店、ニ、通

達、シ、銀行、本店、ヨリ、派出、セ

シ、テ、交換所、鎖店、及、諸、計

算、向、取、纏、メ、テ、為、リ、シ、可、シ

第九條 領事官ハ右ノ通達ヲ為シ
 上ニ速ニ交換所一切計算
 點檢シテ交換所ノ貸附
 金ハ早々取立方ニ夫々為
 シ預リ券預リ金ヲ類ハ
 精々渡シ方ヲ為シ其不足
 銀行本店ノ通達シテ
 償辦スヘキ手續ヲ為ス

第十條 若銀行本店ニ於テ其不足
 金償辦ヲ為シ得ル時ハ
 紙幣寮ニ兼テ銀行本店
 大藏省ニ差出シタル金
 札引換公債證書ヲ賣拂
 シ其金ヲ以テ此償辦
 充ツ可シ

第十條 交換所簿記計算ノ明細

第五節 交換所簿記計算、都ラ
 銀行本店、規則ニ照準シテ
 毎日卒業、後其日逆出
 納總差引、總勘定元帳
 ヲリ抄記シテ計表及日
 現有金ノ計表ヲ作リ其
 用所ニ送リ置キハシ
 第六節 毎水曜日ニ交換所主任

諸帳面及現金等悉ク調
 査シテ其點檢シタル處ノ計表
 ヲ作り之ヲ銀行本店ニ送
 送スハシ
 第七節 毎月實際報告、銀行本店
 ヲリ紙幣寮ニ上呈スル体裁
 ヲ從ヒ翌月三日迄之ヲ作リ本
 副二枚ヲ以テ銀行本店ニ送

致シ其本紙本店ヨリ紙幣寮ヨリ出スヘシ

第四節損益勘定ニ毎年兩度ト

シ五月十一月ヲ以テ一切ノ勘

定ヲ為シ明細ナル實際報

告及損益勘定表ヲ作リ

六月廿九日オ二月廿九日迄ニ

本店ヨリ送致スヘシ

第五節交換所ノ諸簿冊計表其

他諸計算書類ニ極メテ

精確ニ記載シ且簡明ヲ要ス

可シ尤モ諸約定書證書才

形類其他要書類堅ク之

ヲ庫中ニ管守スヘシ

第十一條 交換所役員職務上禁令由リ

第五節交換所主任其他役員

東京 第一回 銀行
ハ私ニ交換所ノ有金ヲ費
シ又之ヲ掠取リ又ハ私費
用ニ供ス可ラス又主任及ヒ其
掛人承認ヲ得スシテ預券
ヲ發行シ預リ金ヲ為シ為替
手形約定手形諸約定諸
債附等ヲ為シ可ラス又交換
所諸簿冊計表報告書

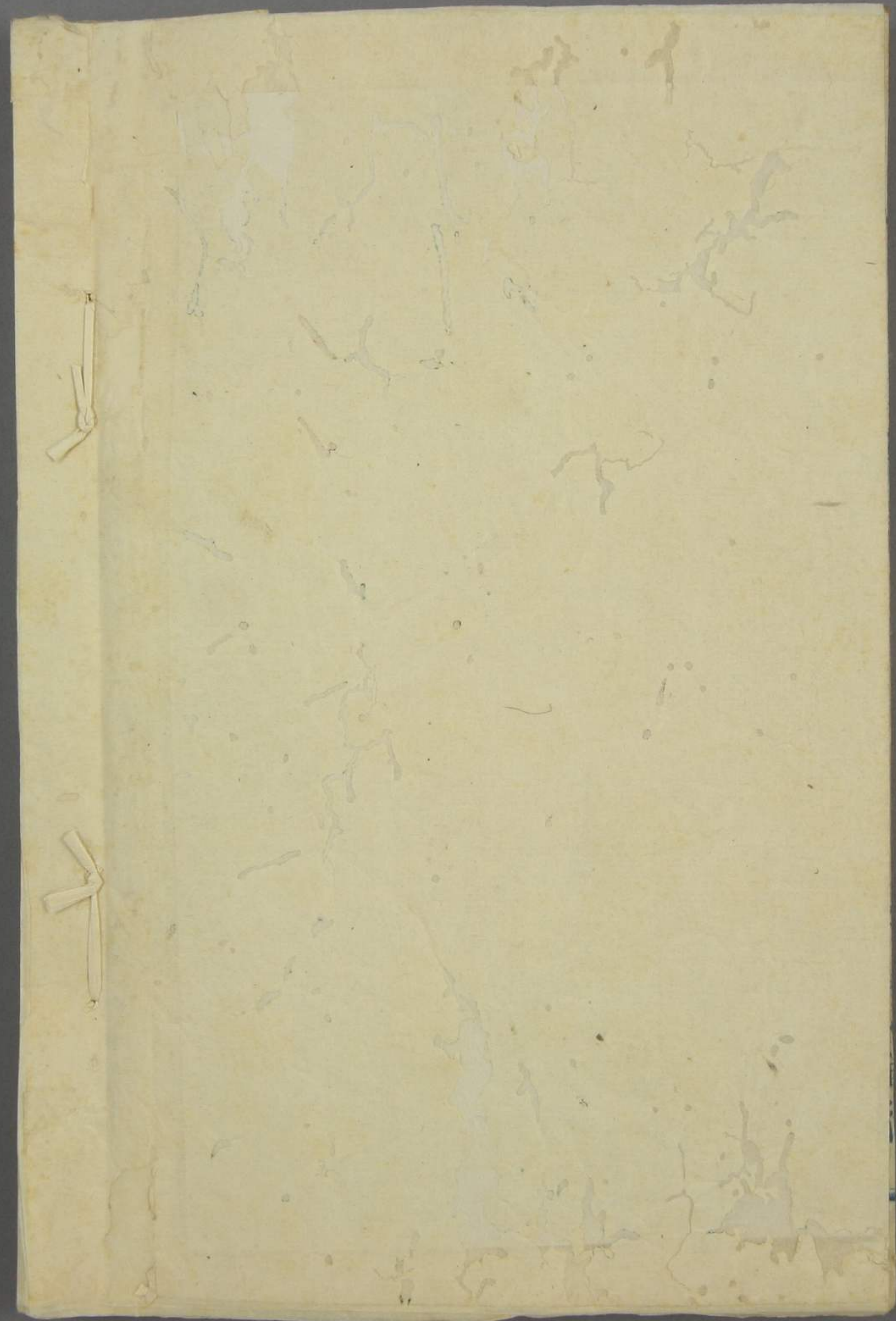
其外ノ要書中ニ詐偽ヲ記載
ス可ラス又私曲ト謀リテ官吏
商會其他ノ者ヲ欺キ及ヒ交
換所實際ノ検査役ヲ欺キ
又欺カント謀ル可ラス若此數
件ニ犯ス者ハ國法ニ從テ
相當ノ處分ヲ受ル可シ
第ニ前交換所ノ役員ニ連ナル者ハ其

派出中ハ自家他所ヲ論スル
 決テ私ノ商業ヲ為ス可キス
 若交換所ノ名ヲ假リテ自己
 ノ利益ヲ謀ルコトアレハ假令如
 何ナル處置アリトモ之ヲ不正
 ノ所為トテシテ相當ノ罰アル
 第三節 交換所主任ハ自ラ此條例

二轉リ又ハ他ノ役員ヲシテ必
 二轉ラシム可ラス若此條例ニ轉
 戻シテ其為ニ交換所ノ損失
 引起スコトアレハ之ヲ轉戻セ
 ン者ニ償ハシム可シ
 第十二條 條例更正ノコトヲ明ニス
 第百大藏省紙幣寮 都合ニ
 要用途アルカ又ハ交換所ニ

於實地施為都合不便
 何時ニテモ此條例
 増補シ又之ヲ改革シ又
 之ヲ廢止スルヲ可シ但交換
 所ヨリ此増補又改革の
 其次第ヲ明細ニ銀行
 本店ヨリ申出ラズ紙幣寮
 許可得テ之ヲ行テヘシ

第節然ト云ハ右増補改革廢
 止等ノ一ハ紙幣寮ヨリ之
 ヲ銀行本店ヨリ示シ交換所
 便否ヲ推問シ其結果
 後ニテ之ヲ實施ス可シ
 右之通相定候事
 明治八年月日大藏省



上海交換所條例

新貨幣及圓銀ヲシテ廣ク支那地方ニ流通セ

シメ彼我ノ通商ヲ昌盛ナラシムル為メ上海

ニ於テ交換所設置ノ事ヲ決定シタルニ付大

日本大藏省ニ於テ右交換所處務ノ順序ヲ制

定シタル條々如左

第一條 交換所設置ノ手續ヲ明ニス

第一節 此交換所ハ大藏省紙幣寮命ヲ奉シ

第一節 第一國立銀行ニ於テ其事務ヲ擔當ス可シ

第二節 交換所設置ノ地ハ支那上海ニ於テ適

宜ノ場所ヲトシ銀行出店ノ□ヲ以テ之ヲ
開業ス可シ

第三節 交換所ノ主務ハ我新貨圓銀ヲ普ク支

那地方ニ流通セシメ以テ彼我通商ノ便益

ヲ増シ且常ニ交換價格ノ景況ヲ考察シテ

我カ新貨圓銀ト支那地金銀及洋銀等ノ交

換ヲ爲シ漸ク其流通ヲ擴伸スル事ニ盡力

ス可シ

第四節 交換ノ景況ニヨリテハ此交換所ニ於

テ廣東香港其他ノ地方ノ都合ヲ謀リ時々

早稻田大學人文科學研究所

出張シテ交換ヲ取扱フ事アルヘシ

第二條 交換所設置ノ年限ヲ明ニス

第一節 此交換所ハ創立ヨリ五ヶ年ヲ以テ試

驗ノ年限トシ其中永續ノ目的□分ナレハ

銀行本店ノ營業中ハ之ヲ取續ク事ヲ得ヘ

シ

第二節 若右年限中又ハ満期ノ際ニ於テ永續

ノ目途ナケレハ次條ノ手續ヲ以テ此交換

所ヲ鎖店スヘシ

第三條 交換所資本金ノ定度及其擔保ノ

手續ヲ明ニス

第一節 此交換所ノ資本金ハ金貳拾萬圓ト定

メ大藏省ヨリ之ヲ第一国立銀行本店ニ交

付シ銀行本店ヨリ交換所ニ送致シテ其資

本ニ充ツヘシ但右貳拾萬圓ノ外銀行本店

ヨリモ之ヲ送致スルハ隨意タルヘシ

第二節 右ノ金額ハ交換所設置ノ爲メ銀行ヨ

リ派出ノ際圓銀ト銀貨トニテ之ヲ交付ス

ヘシ

第三節 銀行本店ヨリハ此資本金ノ抵當トシ

テ其半額拾萬円丈□金札引換公債證書ヲ
以テ試驗年限中^シ之ヲ大藏省ニ納メ置ク可
シ尤モ此抵當ヨリ生スル利足ハ勿論銀行
本店ノ所有タルヘシ

第四節 此資本金額ハ交換所事務試驗ノ年限

中ハ大藏省ヨリ無利息ヲ以テ銀行本店ニ

其運用ヲ專任スヘシ尤モ右年限中ニテモ

此交換所設置ニ付キタル諸經費ヲ其利益

金ニテ充分支消セシ上尙將來利益ノ目的

アルニ於テハ大藏省ハ期ヲ定メテ其資本

第五節 銀行本店ハ此交換所ノ事務取扱ヲ擔
 シ且利息上納ノ事ヲ銀行本店ニ命スヘシ
 保スルニ付右右試驗中不時ノ災厄ニ罹リ
 テ資本金ヲ損失スルカ又派出ノ者エウ引
 負フカ又ハ其運用ノ方法便宜ヲ得スシテ
 交換所ノ諸經費文消ニ不足スルモ都テ銀
 行ノ責任トシ試驗年限ノ満期ニ至レハ必
 ス此資本金額ヲ大藏省ニ返納シテ抵當品
 ヲ受取ルヘシ若又其期ニ届リ此返納ノ事

早稻田大學人文科學研究所

第六節 故ニ銀行ハ右ノ資本金ヨリ生スル利
 益ヲ以テ當初交換所設置ニ付キタル一切
 ノ諸經費ヲ償辨シ且年々交換所ノ費用ヲ
 支消シテ尚贏餘アルハ其分丈ケハ試驗年
 ヲ怠レハ先ツ此交換所ヲ鎖店セシメ抵當
 ノ金札引換公債證書ヲ投入シ尚不足アレ
 ハ交換所ノ所有物又ハ銀行本店ノ所有物
 ヲ取上ゲテ此返納ヲ遂ケシムヘシ但此損
 失モシモ亂又ハ航海中防禦スヘカラサル
 賊難ノ類ニ生スル時ハ此限ニアラス

限中タリト之ヲ大藏省ニ當初交付セラレタル資本金額ヲ減スヘシ

第七節 銀行ハ前條ノ方法ヲ以テ試験年限中

又ハ満期ニ至リ大藏省ヨリ交付セラレタル

ル資本金額ヲ皆納スレハ此交換所ハ全ク

銀行ノ所有ニ販シ其意ニ任セテ之ヲ營業

スルヲ得可シ

第四條 交換所資本金運用ノ手續ヲ明ニ

ス

第一節 交換所ニ於テ資本金運用ノ方法ハ大

早稻田大學人文科學研究所

藏省ヨリ交付セラレタル圓銀貨ヲ以テ

時價ノ景況ヲ見計ヒ之ヲ上海通用ノ規銀

ニ交換シテ確實ナル物品抵當ヲ以テ貸附

金ヲ爲スヲ常務トシ且爲替ノ模様ニヨリ

テ其規銀ヲ以テ横浜神戸等江洋銀爲替ヲ

爲シテ漸次我圓銀銀ノ彼我地方江送致

スル事ヲ心掛クベシ

第二節 交換所ニ於テ貸附金ヲ爲ス高縦令何

様抵當品正確ナリト一人又ハ一口ノ高資

本金額十分ノ一ヲ限リトスヘシ

第三節

交換所ニ於テ抵當貸金ヲ爲ス物品ハ
商業上必要ナル木綿砂糖等ノ類ニテ常ニ
賣買速ナルモノニ限ル可シ且其貸附ノ期
限及ヒ利息ノ約束等ハ土地ノ慣法ニ從フ
ヘシト云ヒ可成丈ケ其期ヲ短縮ニシ其利
息ヲ低下ニス可シ

第四節

上海爲替ノ景況ニヨリテ横濱又ハ神
戸其他ノ地方ニ爲替ヲ取組ムニハ交換所
ヨリ之ヲ銀行本店江通達シ其爲替金ハ本
店ニ受取リ其申請ニ從テ代リ圓銀銀貨ヲ

早稻田大學人文科學研究所

交換所ニ送致スヘシ

第五節

右爲替ノ取組方ハ洋銀價格ノ計算ニ
ヨリテ圓銀銀貨ヲ支那地方ニ送致流通ス
ルヲ要務ト爲スト云ヒ其時ノ都合ニヨリ
テハ彼我商估ノ送致スヘキ金額ニ依リテ
此爲替ヲ取組ム事ヲ勉ム可シ

第六節

大藏省ノ都合ニヨリテ欧米諸国ニ送
致スル官金アルヒ横濱洋銀相場ト欧米貨
幣トノ相場ヲ見計ヒ之ヲ銀行本店ニ命シ
上海交換所ニ於テ規銀ヲ以テ其爲替ヲ取

組ミ其金額ハ圓銀銀貨ニテ銀行ニ受取り
 之ヲ交換所ニ送致シテ振替爲替ヲ爲シ欧
 米諸國ノ貨幣ニ換テ其地ニ於テ渡シ方ヲ
 爲ス事アル可シ
 第五條 交換所ニテ預リ券發行ノ事ヲ明
 ニス
 第一節 交換所營業ノ模様ニヨリテハ最初大
 藏省ヨリ交付セラレタル圓銀銀貨ヲ以テ
 洋銀又ハ規銀ニ交換シ之ヲ準備トシテ上
 海ニアル欧米各國銀行ヨリ發行スル例ニ

早稻田大學人文科學研究所

倣ヒ其地限りノ預リ券ヲ發行スル事アル
 可シ
 第二節 發行スル規銀洋銀ノ預リ券ハ試驗年
 限中ハ拾五萬圓迄ノ實額ヲ限り其準備正
 金ハ發行預リ券高十分ノ七ハ必ス交換所
 ニ格護シテ常ニ其交換ニ差支ヘサル様ニ
 スヘシ
 第三節 此預リ券ノ種類ハ規銀ノ壹テール貳
 テール五テール拾テールノ四種洋銀壹弗
 五弗拾弗貳拾弗ノ四種トシ其製造ノ格好

等ハ紙幣寮ノ指揮ニ從ヒ極テ精緻ヲ旨トシ銀行ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

第四節 追テ新貨圓銀ノ流通支那地方ニ擴伸

スレハ交換所ニ於テハ圓銀銀貨ノ預リ券

モ發行スル事アルヘシ但之ヲ發行スルニ

ハ其時ノ景況ト其發行ノ都合トヲ銀行ヨ

リ紙幣寮ニ具陳シ其許可ヲ得テ後之ヲ取

扱フ可シ

第六條 交換所ニ於テ定期當座預リ金ヲ

為ス手續ヲ明ニス

第一節 交換所ニ於テハ内外人民ノ望ミニヨ

リ定期當座ノ預リ金ヲ為スヲ得可シ尤モ

其利息ト期限トハ土地ノ模様ニ從ヒ便宜

之ヲ取究メ預リ證書面江明亮ニ其約束ヲ

掲ク置く可シ

第二節 右預リ金ノ高ハ試驗年限中ハ資本金

額ノ高直ヲ限リトシ縱令何様ノ信用ヲ得

テ預ケ方ヲ望ム者アリトモ此額ヲ超レハ

交換所ハ之ヲ預ル可ラス但シ逆爲替ヲ以

テ一時其金額ヲ受取り之ヲ他方ニ渡スノ

類ハ此預リ金額内ニ算ス可ラス

第七條 交換所ニ於テ官府ノ出納何ヲ取

扱フ手續ヲ明ニス

第一節 上海領事館出納御用其他臨時駐劄ス

ル官倉ノ出納向ハ勿論都テ大藏省ヨリ支

那地方ニ於テ仕拂フヘキ金銀又ハ受取ル

ヘキ金銀ハ之ヲ銀行本店ニ達シ此交換所

ニ於テ其取扱ヲ爲サシムヘシ

第二節 取扱ヲ爲スニ付銀行本店又ハ交換所

江ハ爲替打歩ノ外別ニ其手数料ヲ渡サ、

早稻田大學人文科學研究所

ルヘシ尤モ領事館又ハ臨時駐劄官倉ノ出

納取扱ハ當初相當ノ約束ヲ設ケテ瑣少ノ

手数料ヲ交付ス可シ

第三節 總テ交換所ノ申請ニヨリテ支那地方

ニ輸出スル圓銀銀貨ハ銀行本店ヨリ之ヲ

大藏省ニ申立テ新紙幣ト交換シテ

最初交付
セラル資本

ニテ此例銀行本店ヨリ之ヲ送致スヘシ

第四節 右ノ交換價格ハ圓銀百圓ニ紙幣百零

壹圓ノ割ヲ以テ支那地方流通ノ模様ニ

從ヒ交換所ヨリ申請ニ任セテ之ヲ交付ス

ヘシ

第八條 交換所事務計算等検査手續ヲ明

ニス

第一節 交換所事務取扱方及諸計算向ノ實地

検査ハ上海駐劄ノ領事官之ニ專任シテ毎

月一度又ハ兩度宛實際ノ模様簿記ノ順序

現有金多寡等ヲ詳細ニ點檢調査スヘシ

第二節 検査シタル次第及諸勘定向ハ其時々

計表又ハ調書ヲ以テ交換所ノ主任調印ノ

上之ヲ領事官ニ出シ領事館ハ其相違ナキ

早稻田大學人文科學研究所

事ヲ認ムレハ尚之ニ加印シ検査シテ正シキモノナリノ字ヲ書入ルヘシ速

ニ其書類ヲ紙幣寮ニ送スヘシ

第三節 交換所ノ主任モ其検査ヲ受ケタル手

續及ヒ領事館ニ差出シタル書類ノ写ヲ以

テ速ニ之ヲ銀行本店ニ通達スヘシ

第四節 大藏省又ハ紙幣寮ノ考案ニヨリテ更

ニ詳密ナル取調ヲ為サントセハ之ヲ領事

館ニ達シテ臨時ノ検査ヲ為サシム可シ但

此臨時検査ヲ為セシ時モ其計表其外ノ差

出方ハ都テ第一節第二節ノ手續ニ從テ可

シ

第五節 若検査ニ於テ交換所ノ事務取扱向此

條例ニ抵触スル事アレハ領事館ハ速ニ其

事務取扱方ヲ差留メ之ヲ紙幣寮ニ通達シ

銀行本店ヨリ相當人負ヲ派出セシメ其若

ト立會ノ上ニテ交換所ヲ鎖店シ諸勘定向

ヲ調査シテ其決算ヲ遂ケシム可シ

第六節 然リト云モ領事館ノ此検査ヲ為スモ

右ノ抵触ハ第一預リ券發行高ニ対スル準

備金ノ貯有高制限ニ相當スルヤ及ヒ貸附

早稻田大學人文科學研究所

金ノ抵當品正確ニシテ其制限ノ定度ヲ失

ハサルヤヲ要旨トシ此兩件ニ付テ不都合

ナク只尋常簿記計算ノ差違等ノ小過失ナ

レハ之ヲ改正シテ條例ニ照準セシムル迄

ニテ紙幣寮江ノ通達ニハ及ハサルヘシ

第七節 交換所ノ主任ハ抵触シタル條款ニ於

テ尚辯解スヘキ事アレハ説明ニ其手續ヲ

銀行本店ニ通達シ銀行本店ヨリ之ヲ紙幣

紙ニ上申シ其都合ニヨリテ紙幣寮ヨリ相

當ノ官負ヲ派出シテ更ニ詳細ノ検査ヲ為

シテ更ニ精細ノ検査ヲ爲シ之ヲ紙幣寮ニ
通達シテ再應審議ヲ乞フ事アルヘシ

第八節 右ノ派出調査ニヨリテ交換所ノ所爲

條例ニ抵触セサレハ辨解ヲ得レハ別ニ其

業ヲ鎖スニ及ハサルニ付銀行本店ヨリ派

出ノ着ハ紙幣寮派出官負又ハ領事館ニ稟

議シ相當ノ處置ヲ爲シテ其業ヲ永續スヘ

シ

第九條 交換所ニテ預リ券ノ引換又ハ預

ケ金返却ニ差支トル時ノ處置ヲ明ニス

早稻田大學人文科學研究所

第一節 交換所ニ於テ若シ預リ券引換方又ハ

預リ金返却爲替金ノ渡シ方ヲ怠リ内外人

民ヨリ其次第ヲ領事館ニ上訴スル事アレ

ハ領事官ハ速ニ交換所ノ事務ヲ差止メ事

實交換所ノ不都合タレハ之ヲ紙幣寮及銀

行本店ニ通達シ銀行本店ヨリ派出セシメ

テ交換所鎖店及諸計算向ノ取纏メヲ爲サ

シム可シ

第二節 領事館ハ右ノ通達ヲ爲セシ上ニテ速

ニ交換所一切ノ計算ヲ點檢シテ交換所ノ

貸附金ハ早々取立方ノ工夫ヲ為サシメテ	預リ券預リ金ノ類ハ精々渡シ方ヲ為シ其	不足アレハ銀行本店江通達シテ之ヲ償辦	スヘキ手續ヲ為スヘシ	第三節 若銀行本店ニ於テ其不足金ノ償辦ヲ	為シ得サル時ハ紙幣寮ハ兼テ銀行本店ヨ	リ大藏省ニ差出シタル金札引換公債證書	ヲ賣拂ハシメ其金ヲ以テ此償辦ヲ充ツ可	シ	第十條 交換所簿記計算ノ事ヲ明ニス
--------------------	--------------------	--------------------	------------	----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---	-------------------

早稻田大學人文科學研究所

第一節 交換所簿記計算ハ都テ銀行本店ノ規	則ニ照準シ毎日卒業ノ後其日迄ノ出納總	差引ヲ總勘定元帳ヨリ抄記シタル計表及	日々現有金ノ計表ヲ作り其用所ニ藏メ置	クヘシ	第二節 毎水曜日ニハ交換所ノ主任諸帳面及	現金等悉ク調査シテ其點檢シタル處ノ計	表ヲ作り之ヲ銀行本店へ送スヘシ	第三節 毎月實際報告ハ銀行本店ヨリ紙幣寮	江上呈スル体裁ニ從ヒ翌月三月迄ニ之ヲ
----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-----	----------------------	--------------------	-----------------	----------------------	--------------------

作り本副二枚ヲ以テ銀行本店へ送致シ其
 本紙ハ本店ヨリ紙幣寮江出スヘシ
 第四節 損益勘定ハ毎年兩度トシ五月十一月
 ヲ以テ一切ノ勘定ヲ爲シ明細ナル實際報
 告及損益勘定表ヲ作り六月廿五日十二月
 廿五日迄ニ之ヲ本店ニ送致スヘシ
 第五節 交換所ノ諸簿冊計表其他ノ計計算書
 類ハ極メテ精確ニ記載シ且簡明ヲ要ス可
 シ尤モ諸約定書證書手形類其他ノ要書ハ
 堅ク之ヲ庫中ニ管守スヘシ

早稻田大學人文科學研究所

第十一條 交換所役負處務上ノ禁令ヲ明
 ニス
 第一節 交換所ノ主任其他ノ役負ハ私ニ交換
 所ノ有金ヲ費シ又ハ之ヲ掠取リ又ハ私ノ
 費用ニ供ス可ラス又主任及ヒ其掛々ノ承
 認ヲ得スシテ預リ券ヲ發行シ預リ金ヲ爲
 囚爲替手形約束手形諸約定諸貸附等ヲ爲
 ス可ラス又交換所ノ諸簿冊計表報告書其
 外ノ要書中ニ詐偽ヲ記載ス可ラス又私曲
 ヲ謀リテ官吏商會其他ノ者ヲ欺キ及ヒ交

換所實際ノ検査役^シ欺キ又欺カント謀ル
可ラス若此要件ヲ犯ス者アラハ^シ国法ニ從
テ相當ノ處分アル可シ

第二節 交換所ノ役員ニ連ナル者ハ其派出中
ハ自家他所ヲ論セス決テ私ノ商業ヲ爲ス
可ラス若交換所ノ名ヲ假リテ自己ノ利益
ヲ謀ル事アレハ假令如何ナル處置タリト
モ之^ハ不正ノ所爲トナシテ相當ノ罰アル
ヘシ

第三節 交換所ノ主任ハ自ラ此條例ニ悖リ又

ハ他ノ役員ヲシテ之ニ悖ラシム可ラス若
此條例ニ悖戻シテ其爲ニ交換所ノ損失ヲ
引起ス事アレハ之ヲ悖戻セシ昔ニ償ハシ
ム可シ

第十二條 條例更正ノ事ヲ明ニス

第一節 大藏省紙幣寮ノ都合ニヨリテ要用ノ
事アルカ又ハ交換所ニ於テ實地施爲ノ都
合ニ不便ノ事アレハ何時ニテモ此條例ヲ
増補シ又ハ之ヲ改革シ又ハ之ヲ廢止スル
事アル可シ但交換所ヨリ此増補又ハ改革

ヲ乞フハ其次第ヲ明細ニ銀行本店江申
出テ紙幣寮ノ許可ヲ得テ之ヲ行フヘシ

第二節 然リト云ハ右増補改革廃止等ノ事ハ

紙幣寮ヨリ之ヲ銀行本店江示シ交換所ノ

便否ヲモ推問シ其承諾ノ後ニ之ヲ實施

ス可シ

右之通相定候事

明治八年 月 日

大藏省